

地域医療に関するアンケート（病院向け）

Q 1 地域の医療の現状の認識（充足していると思う医療・不足していると思う医療等〔充足度・不足度を含む〕）

【回答例】

- ・リハビリや在宅に移行するための機能、在宅リハビリが不足している。（区西部）
- ・回復期機能の病床は満床に近く、慢性期機能は空きつつある。（北多摩北部）

Q 2 - 1 自院が現在、地域の中で果たしていると思う役割

- ◆ 回答病院名及び回答内容を地域医療構想調整会議等で公表する場合があります。

- 2 今後、自院にて始めたいと考えている取組

Q 3 Q 2の役割を担う上で課題と感じていること

【Q 2・Q 3 回答例】

Q2 (-1 現在の役割、-2 今後の取組)	Q3 (課題)
Q2-1 (現在の役割) 循環器疾患の救急患者の受入	急性期を脱した心不全患者が在宅で適切なケアを受けられる体制
Q2-1 (現在の役割) かかりつけ医機能・在宅の後方支援	肺炎等を罹患した在宅療養患者の夜間受入れの増加
Q2-2 (今後の取組) 脳卒中後の訪問リハビリの提供	在宅医やケアマネとの関係構築

Q 4 各機能（高度急性期機能・急性期機能・回復期機能・慢性期機能※）及び在宅医療に望むもの

- ◆ 個別の医療機関に対する意見でも可（注：個別医療機関名の公表は行いません。）

※病床機能報告上の定義

高度急性期機能：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期機能：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて医療を提供する機能

回復期機能：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療や、リハビリテーションを提供する機能

慢性期機能：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

【回答例】

- ・回復期機能の病床は、「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」だけでなく、急性転化した在宅患者の受入も担ってほしい。

Q 5 予測される将来の医療の状況、将来の医療提供体制を検討するにあたっての考え方

【回答例】

- ・推計は不足と出ているが、現在病床が空いており、意外とうまく対応できるのではないか。(区南部)
- ・現在の流出入を良しとするのか、地域完結させるために不足する医療を補うのか、まず決める必要がある。(区中央部)

Q 6 地域における将来にむけての不安・課題

- － 1 医療連携
- － 2 在宅医療の提供や地域包括ケアシステムの構築
 - ◆ 特に訪問診療等を実施している病院については、ご協力ください。
- － 3 人材の確保・育成
- － 4 その他

【回答例】

- ・小児科・産科施設の確保
- ・介護施設等が、入居者の具合が悪くなった時にすぐ救急車を呼んでしまうことが問題になっている。(南多摩)
- ・在宅移行支援において、病院の取組状況が見えず、病院と開業医の連携を強化する必要がある。(北多摩南部)

Q 7 今後、調整会議で取り扱うべきと考えるテーマ

Q 8 その他、自由意見

～ 御協力ありがとうございました ～